

環境法政策学会 2026 年度大会「分科会」について

開催日時：2026 年 6 月 13 日（土）10 時開始・12 時終了（予定）

ZOOM を使用してのオンライン開催です。ZOOM 情報は 6 月上旬に案内いたします。

分科会の時間配分は、報告 20 分、コメント 5 分、質疑応答 5 分です。

第一分科会報告（国内法）〔座長：樋渡俊一会員（弁護士）〕

1 森林の所有権問題・所有者不明の問題

■報告者：品川尚子（弁護士）/コメンテーター：奥田進一（拓殖大学）

2 循環型社会におけるガラスびんの復権—調布市におけるリユース促進の実現可能性と制度的課題の分析—

■報告者：石渡美奈（ホッピービバレッジ株式会社/上智大学）/
コメンテーター：奥 真美（東京都立大学）

3 アイヌ民族の文化享有権の展開及びそれらと生態系保全の協働可能性

■報告者：松竹夏鈴（大阪大学）/コメンテーター：松本和彦（大阪大学）

4 宇宙環境法をめぐる未来政策に関する一考察—スペースデブリ問題を事例に環境法と宇宙法の隣接点を考える—

■報告者：中山敬太（早稲田大学）/コメンテーター：松田芳和（名古屋大学）

第二分科会報告（外国法）〔座長：岡松暁子会員（法政大学）〕

1 フランスの環境政策にみる「環境正義」という視点—社会的な不平等と環境法政策の接点—

■報告者：川上陽子（大阪体育大学）/コメンテーター：藤井康博（大東文化大学）

2 環境法典化は環境ガバナンスをいかに再構築するのか—中国「生態環境法典」の成立過程と制度変遷に関する日中比較検討—

■報告者：何 劫（浙江師範大学）/コメンテーター：山田浩成（アジア経済研究所）

3 中国における生態環境修復責任と協議制度の再検討—生態環境法典編纂過程を素材として—

■報告者：莫 也（大阪大学）/コメンテーター：陳 瑶瑶（近畿大学）

4 フランスにおける取引外の生態系の構成要素に関する生態学的損害の算定—破毀院刑事部 2024 年 3 月 26 日判決を中心に—

■報告者：船橋 弘（京都大学）/コメンテーター：二見絵里子（東京経済大学）